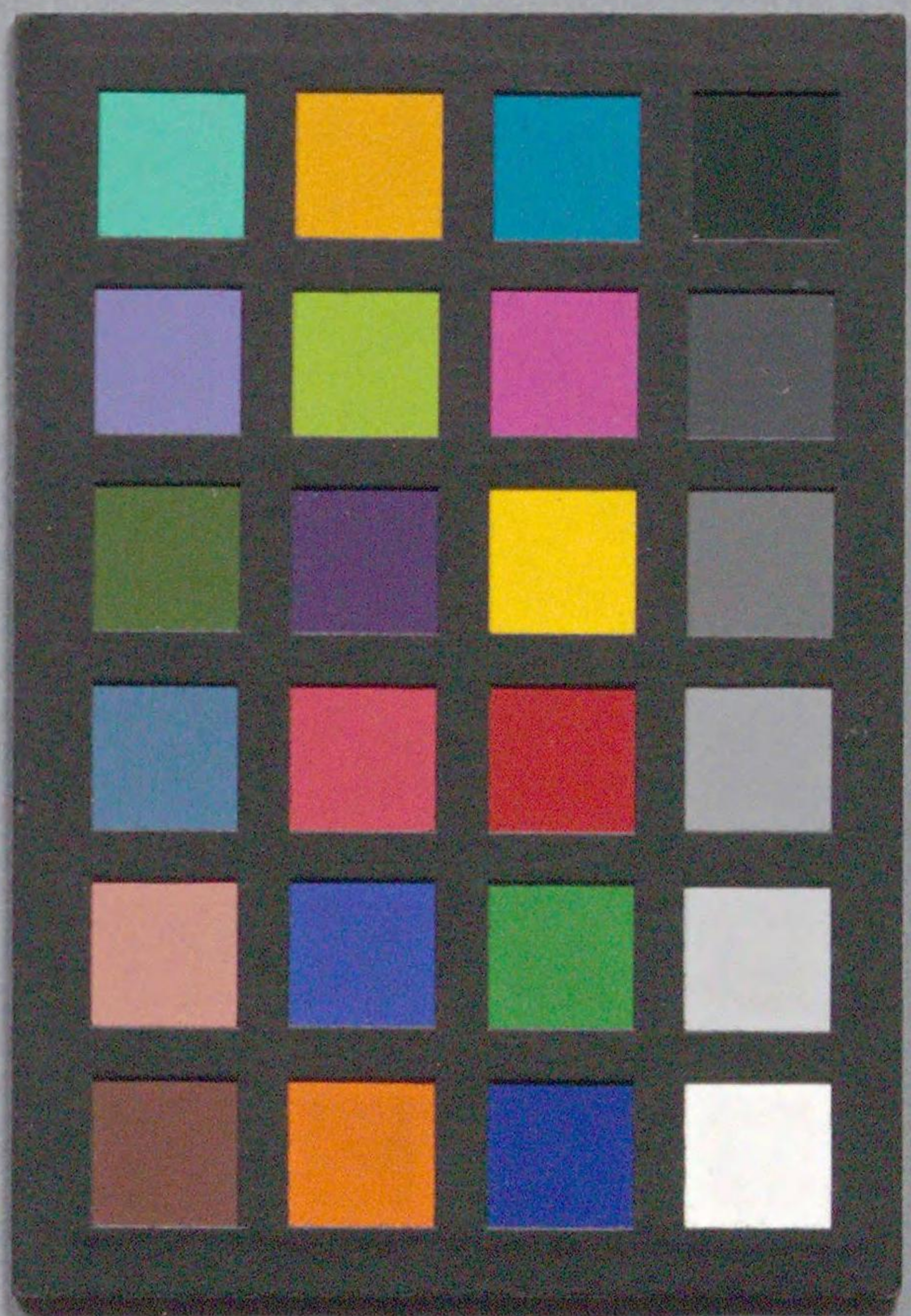


国立国会図書館 通言武者揃 3巻 208-323



ガラス使用



番 咄

序

武



止

蓋典舗の蔵

の肉



の

之昔の楚人ハ武士ハ堂名妓の言れどおらんや

それとも壽星の安よ君と猪守亦れ危と念也

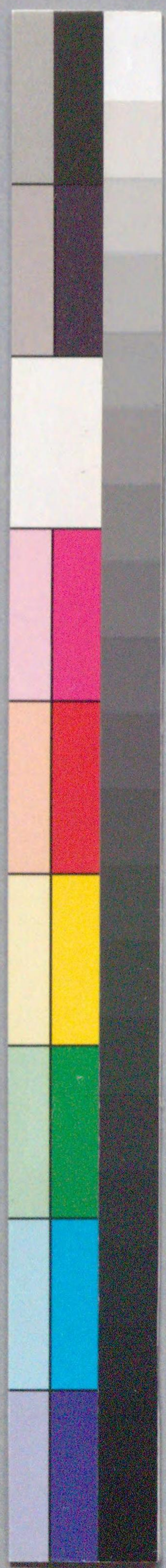
方よれ代のお子様も昔のまらりもりともんく

今れ悠々寛々と知れんや心いつか他のまおして芝全文

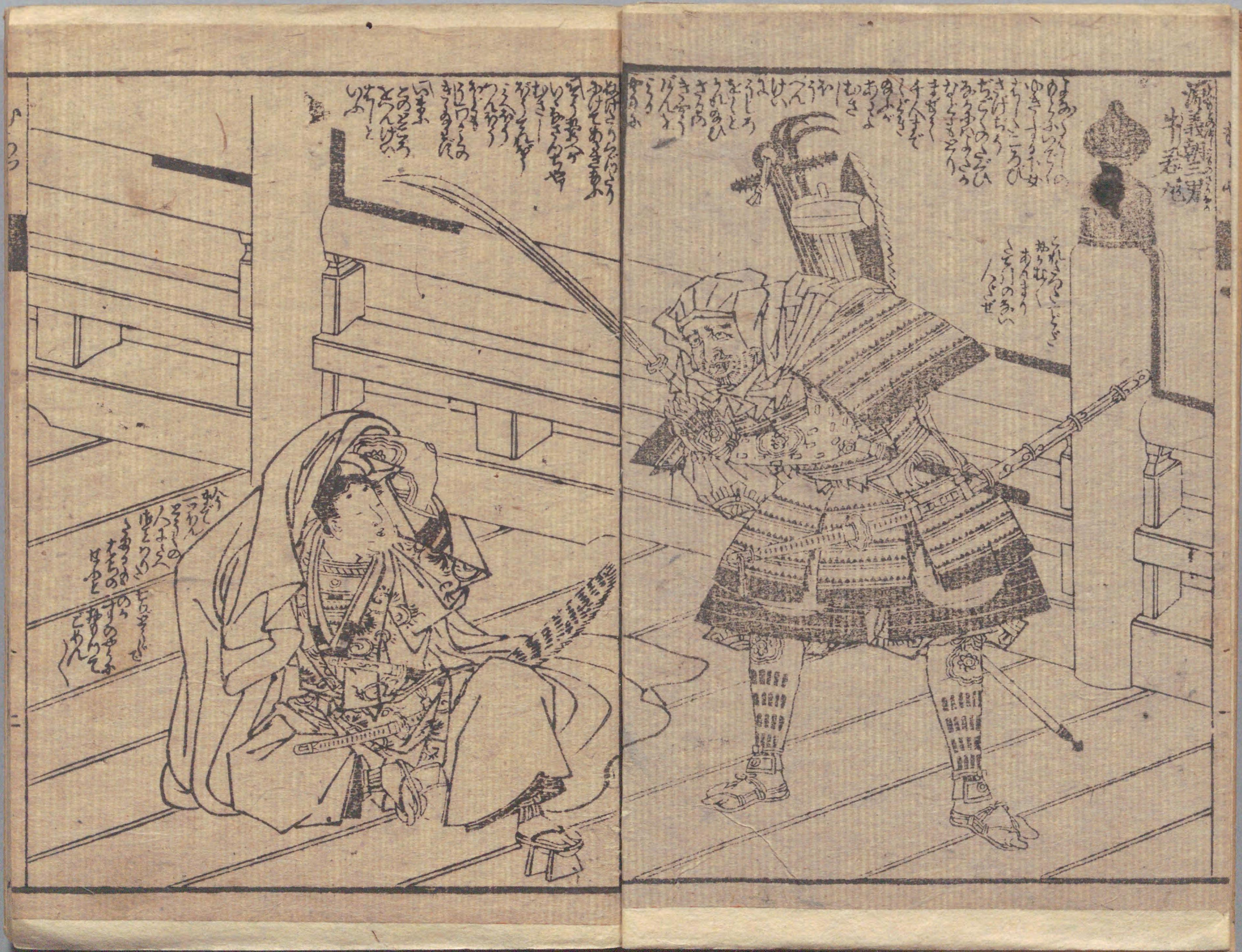
きこく一各代れれり以遊ちきれりさうりみ

お小柄をあれり一帯とさうりみ 雲山入也

ひつ











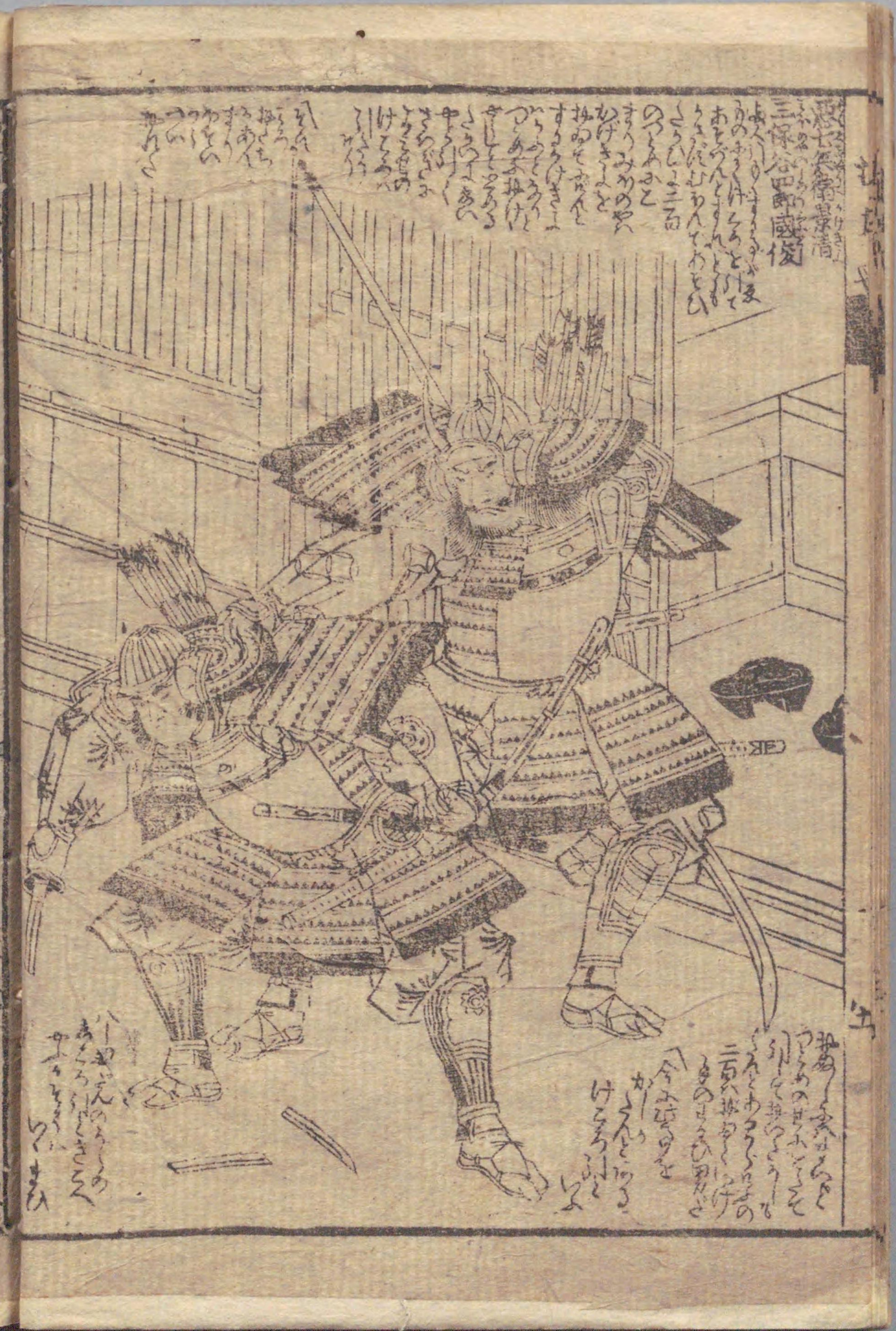




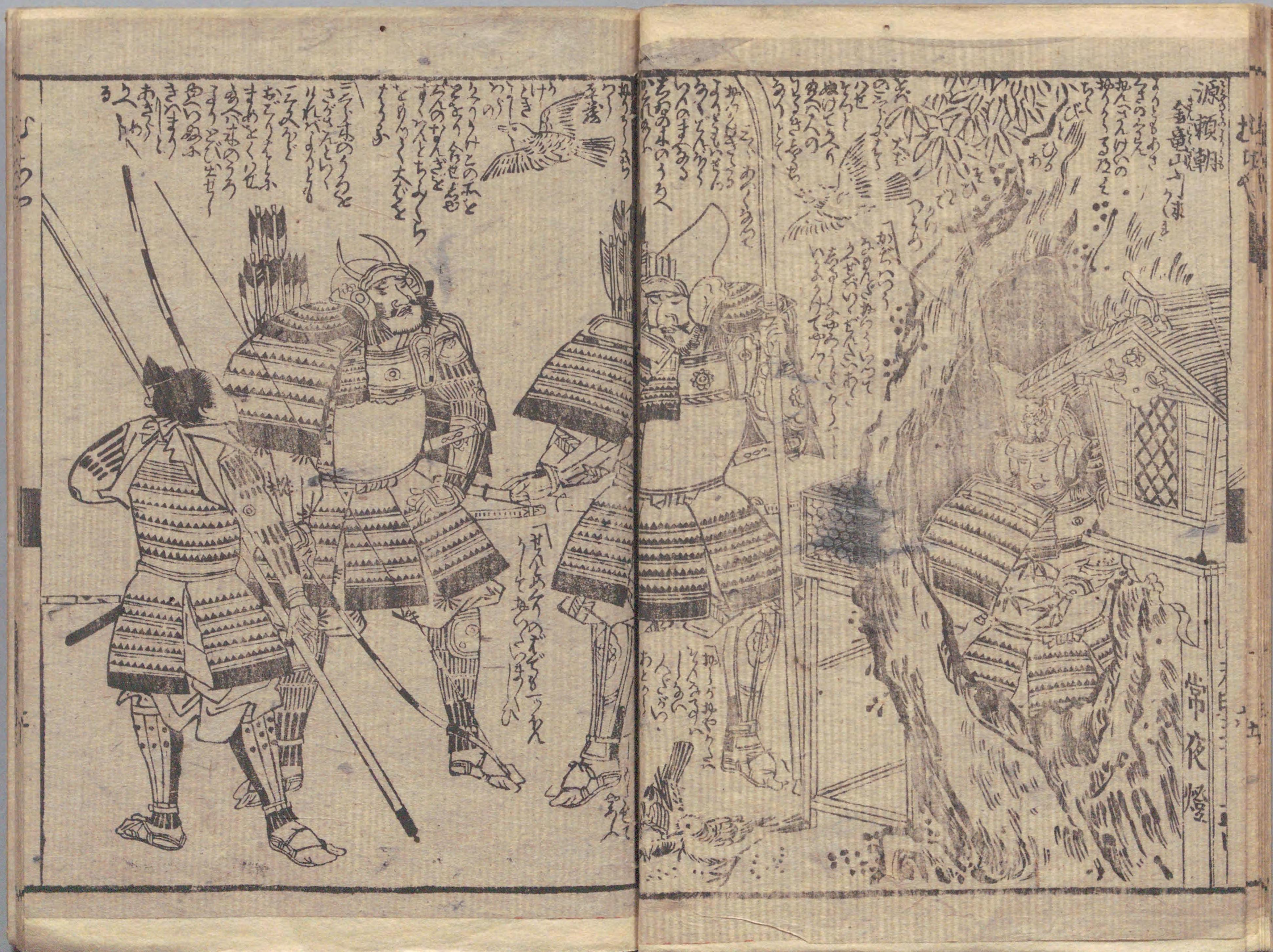




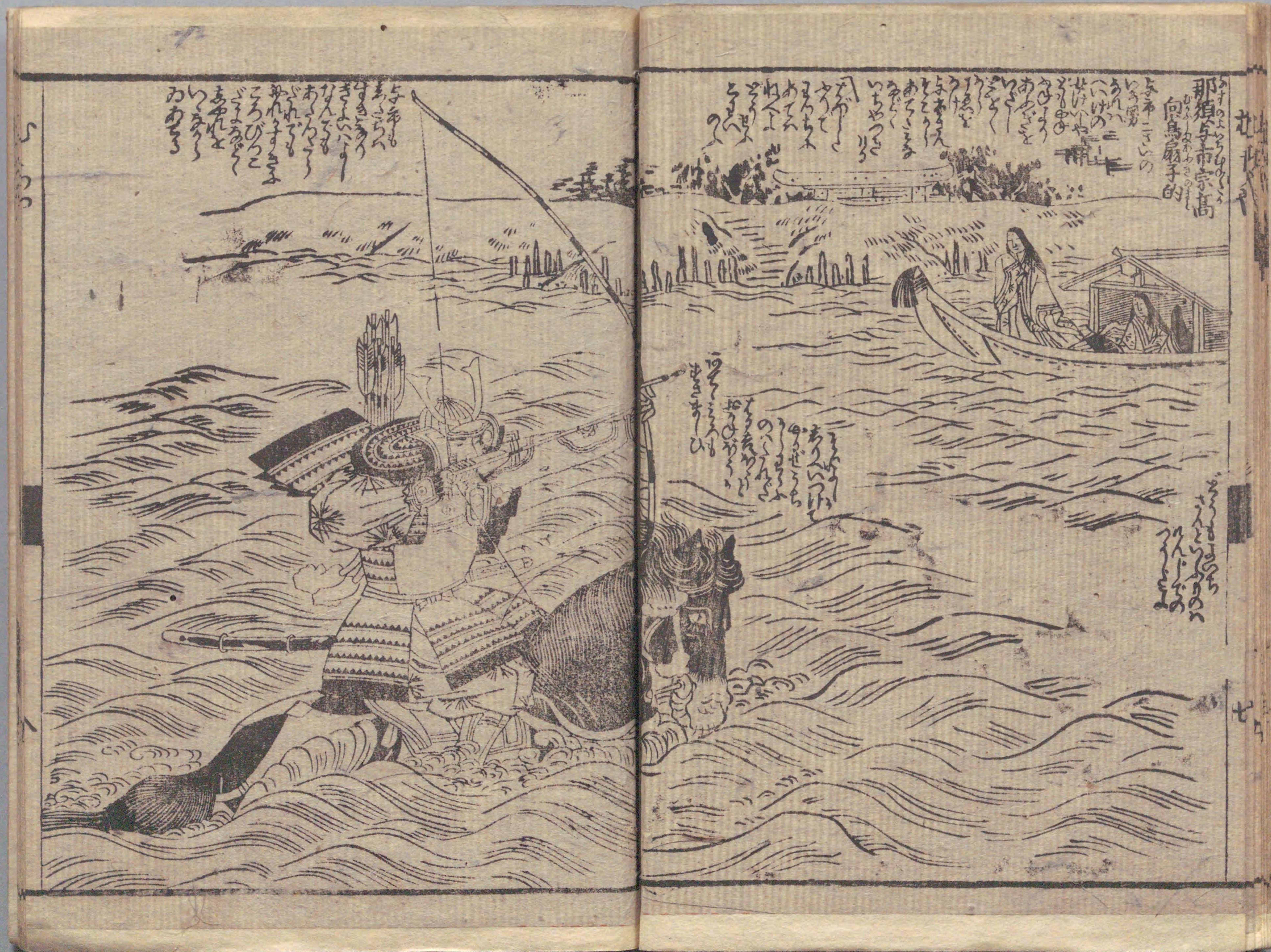




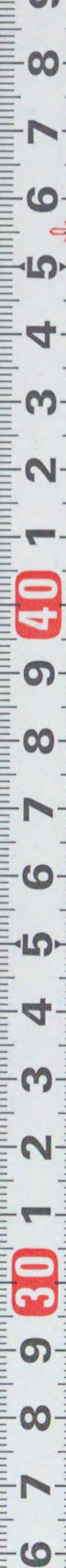
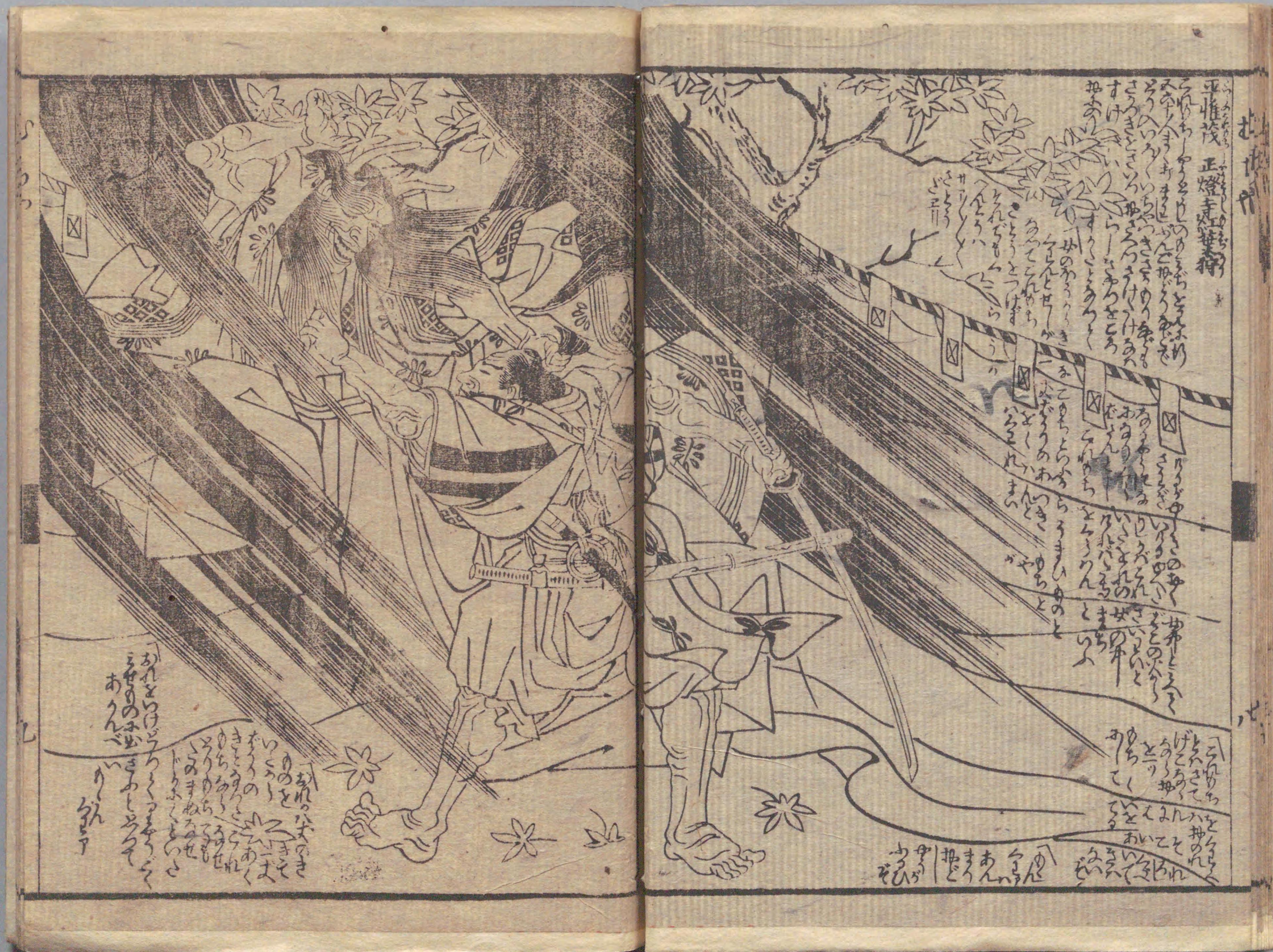








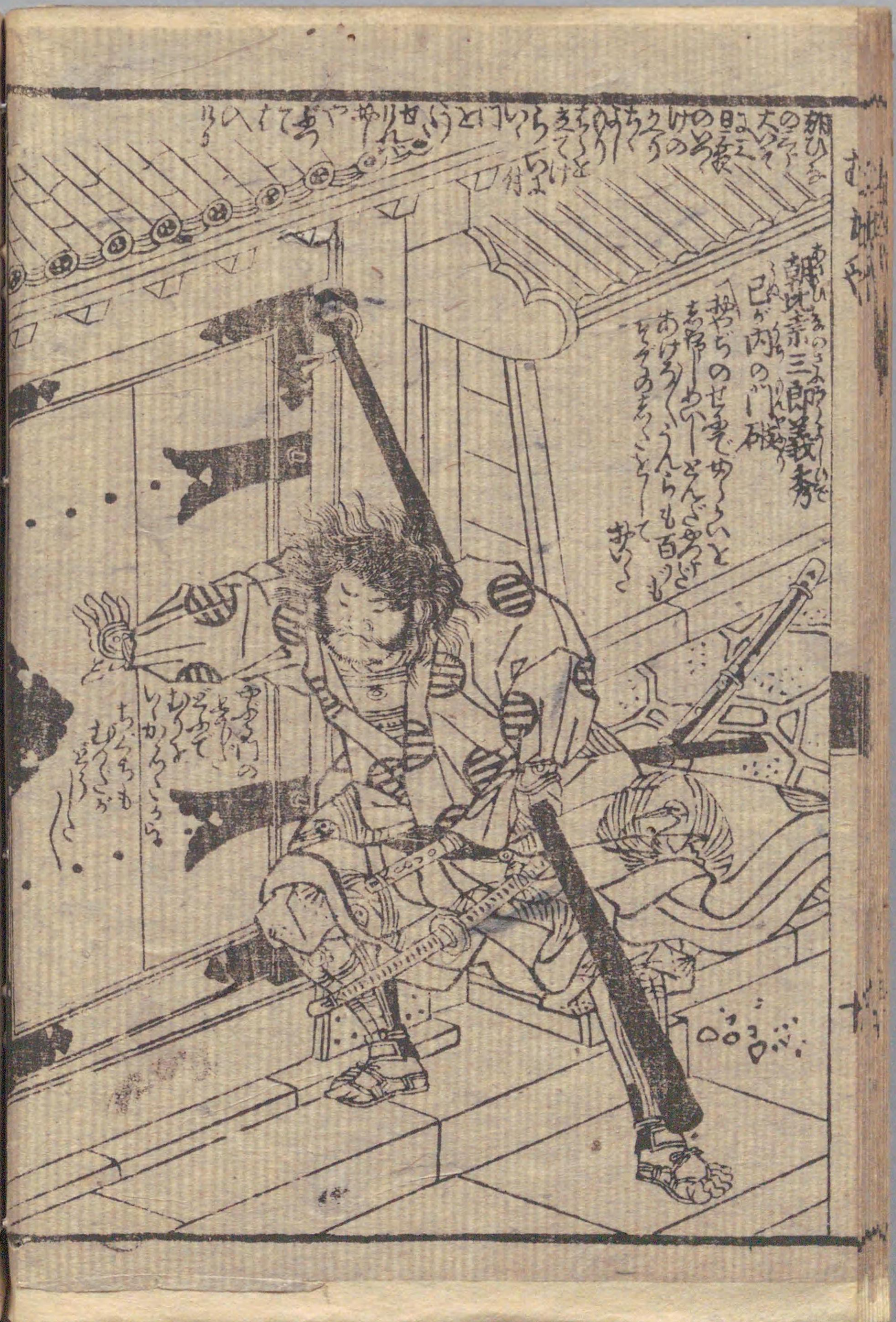








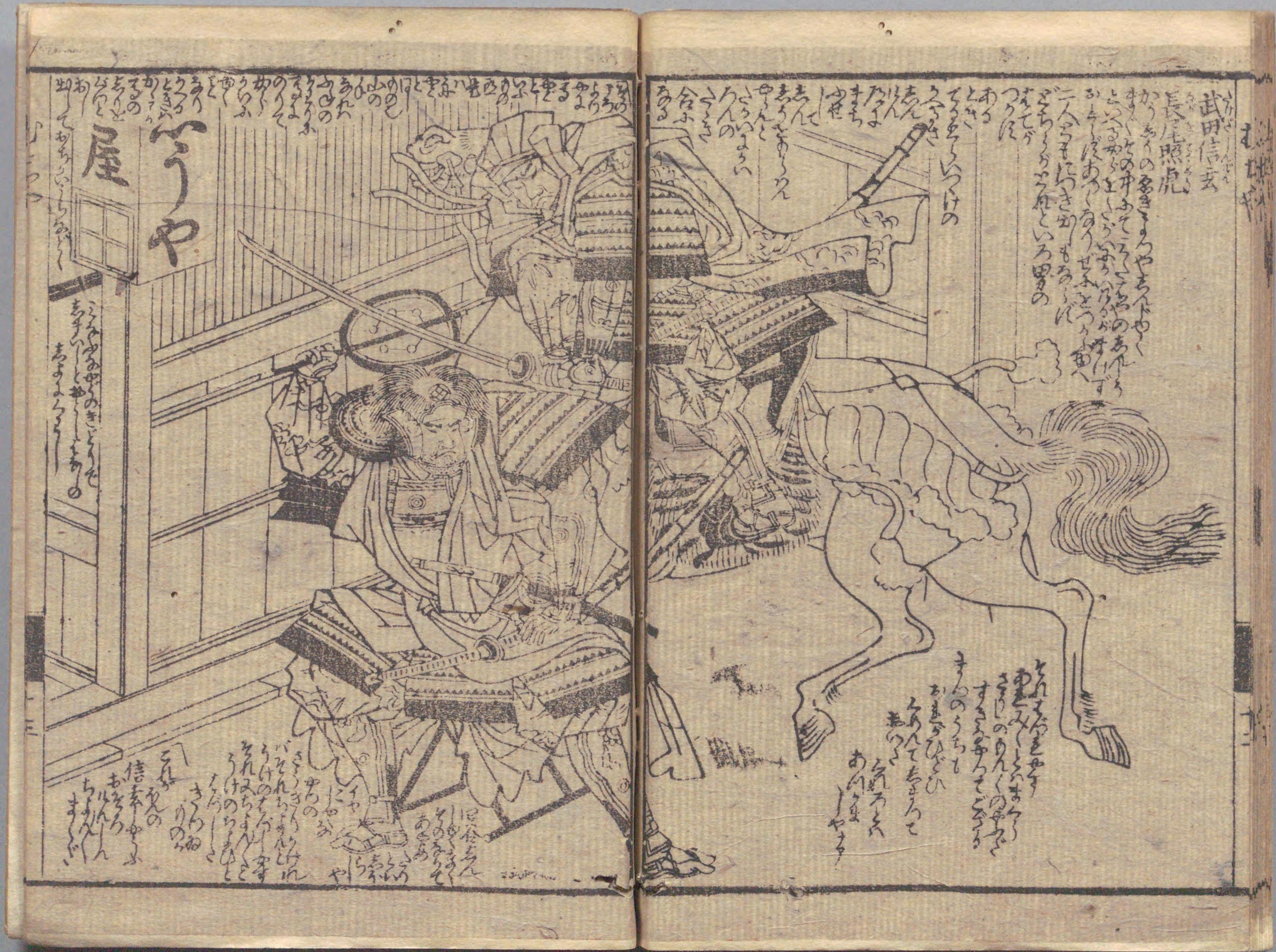








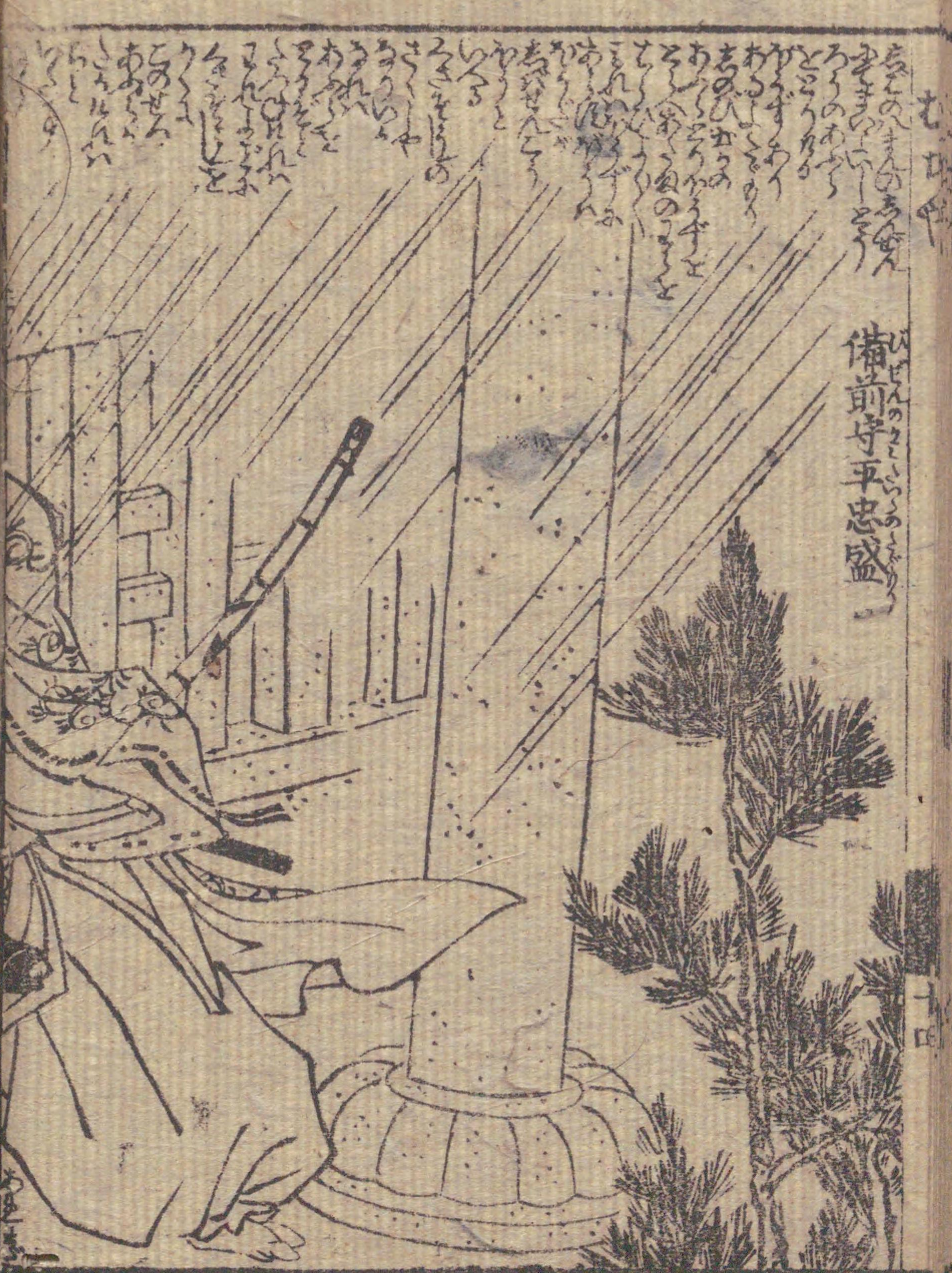












備前守平忠盛





208  
323

喜三三二  
喜三三二  
喜三三二  
喜三三二

新建立  
天道大福帳  
忠臣藏

江戸春  
一夜千両

東傳作

去程  
叔其後  
唐采参和作

明美變目  
景清  
山東京傳作

鳩八幡  
豆利  
德利  
好川作

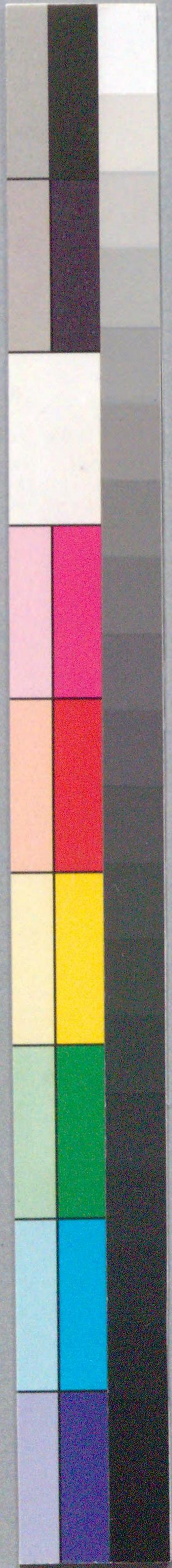
御掛奉  
目

武武者拵ハ社堂の類年より  
有る矣多色ハ拵人より  
いふ年法や  
御掛年よりよる年法が  
類也目年 御奉る由同  
目書及表をくしり

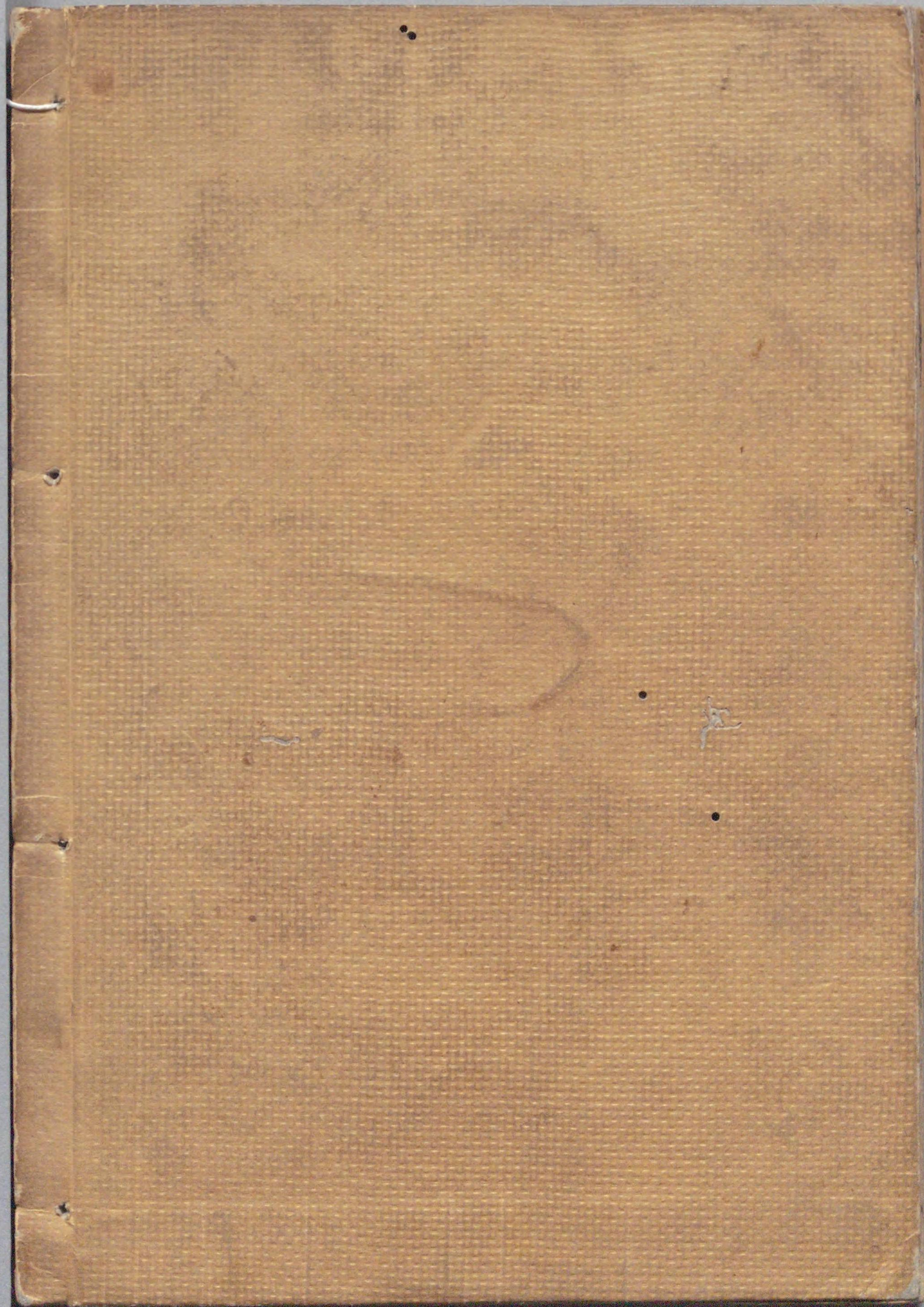
笑金交戯作





国立国会図書館 通言武者揃 3巻 208-323



ガラス使用

